

19 高機施第 160 号
平成 19 年 8 月 7 日

各 位

独立行政法人国立高等専門学校機構

理事長 河 野 伊 一 郎

(公印省略)

学校施設等における吹き付けアスベスト等の対策状況
フォローアップ調査等の結果について (公表)

平成 19 年 4 月 1 日現在の独立行政法人国立高等専門学校機構施設における吹き付けアスベスト等の使用状況 (石綿の粉塵の飛散により暴露のおそれのあるもの) について、下記のとおり公表します。

記

公表書類 : 別紙 1 「独立行政法人国立高等専門学校機構施設等における吹き付けアスベスト等対策状況等フォローアップ調査等の結果について」

平成 19 年 8 月 7 日
独立行政法人国立高等専門学校機構
本部事務局施設課

独立行政法人国立高等専門学校機構施設等における吹き付けアスベスト等の
対策状況等フォローアップ調査等の結果について

I. 調査趣旨

学校を使用する学生等の安全対策に万全を期すために、また、事業所等でのアスベスト被害が社会問題化していることを鑑み、独立行政法人国立高等専門学校機構施設等における吹き付けアスベスト等の使用実態を把握し、速やかに対策を講じることを目的とする。

平成 17 年 11 月 15 日に独立行政法人国立高等専門学校機構における吹き付けアスベスト等使用実態調査、平成 18 年 1 月 31 日に独立行政法人国立高等専門学校機構施設等における第 1 回吹き付けアスベスト等使用実態継続調査、平成 18 年 6 月 30 日に第 2 回吹き付けアスベスト等使用実態調査を実施したところであるが、そのときに「石綿の粉塵の飛散により暴露のおそれのある室を保有する学校」についてのフォローアップ調査である。

II. 調査対象施設

独立行政法人国立高等専門学校機構の 55 校の国立高等専門学校のうち、石綿の粉塵の飛散により暴露のおそれのある室を保有する学校の施設を対象とする。

III. 調査対象建材

平成 8 年度以前に完成（改修工事も含む）した建築物に使用されている次に掲げるもの。

①吹き付け石綿等

いわゆる「吹き付けアスベスト」、「吹き付けロックウール」及び「吹き付けひる石（バーミキュライト）」等と呼ばれているもので、含有する石綿の重量が当該製品の重量の 1% を超えるものを対象とする。

②折板裏打ち石綿断熱材

鋼板製屋根用折板等に主として結露防止等のために張り付けられたもので、石綿を含有する製品を対象とする。

IV. 調査結果

平成19年4月1日現在, 独立行政法人国立高等専門学校機構の該当する高等専門学校施設のフォローアップ調査を完了した。

学校名	H17. 11. 15 現在		H18. 1. 31 現在		H18. 9. 15 現在		H19. 4. 1 現在	
	部屋数 (室)	室面積 (㎡)	部屋数 (室)	室面積 (㎡)	部屋数 (室)	室面積 (㎡)	部屋数 (室)	室面積 (㎡)
八戸工業高等専門学校	2室 通路	256 ㎡	2室 通路	256 ㎡	撤去済	撤去済	撤去済	撤去済
鶴岡工業高等専門学校	1室 通路	250 ㎡	1室 通路	250 ㎡	撤去済	撤去済	撤去済	撤去済
東京工業高等専門学校	1室	93 ㎡	撤去済	撤去済	撤去済	撤去済	撤去済	撤去済
福井工業高等専門学校	2室	148 ㎡	1室	37 ㎡	撤去済	撤去済	撤去済	撤去済
岐阜工業高等専門学校	4室 通路	244 ㎡	3室 通路	88 ㎡	撤去済	撤去済	撤去済	撤去済
豊田工業高等専門学校	2室 通路	272 ㎡	2室 通路	272 ㎡	撤去済	撤去済	撤去済	撤去済
広島商船高等専門学校	3室	50 ㎡	3室	50 ㎡	撤去済	撤去済	撤去済	撤去済
阿南工業高等専門学校	1室	16 ㎡	1室	16 ㎡	撤去済	撤去済	撤去済	撤去済
詫間電波工業高等専門学校	1室	21 ㎡	1室	21 ㎡	撤去済	撤去済	撤去済	撤去済
弓削商船高等専門学校	9室	1,015 ㎡	7室	986 ㎡	7室	986 ㎡	撤去済	撤去済
久留米工業高等専門学校	1室	264 ㎡	1室	264 ㎡	撤去済	撤去済	撤去済	撤去済
八代工業高等専門学校	1室	9 ㎡	1室	9 ㎡	撤去済	撤去済	撤去済	撤去済

V. 独立行政法人国立高等専門学校機構の今後の対応方策

1. 労働安全衛生法施行令及び石綿障害予防規則が改正されたことに伴う対応状況

- ・ 法改正により対象となった、含有する石綿の重量が当該製品の重量の0.1%を超え1%以下のものについては、調査を完了し公表している。このとき発見されたもののうち、「石綿等の粉塵の飛散により暴露のおそれのあるもの」及び「石綿等の粉塵の飛散により暴露のおそれのないもの」については平成18年度中に対策工事が完了した。

2. 前回の調査後新たに発見された吹き付けアスベスト等の対応状況

- ・ 平成19年1月24日に仙台電波工業高等専門学校において新たに吹き付けアスベスト等が発見され（1部屋4㎡）、平成18年度中に撤去が完了した。
- ・ 平成19年3月7日に阿南工業高等専門学校において新たに吹き付けアスベスト等が発見され（26部屋+通路864㎡）、平成18年度中に撤去が完了した。
- ・ 平成19年3月10日に群馬工業高等専門学校において新たに吹き付けアスベスト等が発見され（12部屋459㎡）、平成18年度中に3部屋26㎡を撤去し、9室433㎡については囲い込み工事が完了した。
- ・ 平成19年4月10日に鳥羽商船高等専門学校において新たに吹き付けアスベスト等が発見された（通路85㎡）。現在撤去工事を実施中で平成19年8月中に撤去が完了する予定である。
- ・ 平成19年5月7日に米子工業高等専門学校において新たに吹き付けアスベスト等が発見された（1部屋2.5㎡）。現在撤去工事を実施中で平成19年8月中に撤去が完了する予定である。

3. 今後の対応方策

- ・ 恒久的措置済み状態にある室（囲い込み・封じ込め工事を行っている室）について、今後も劣化・損傷等によるアスベストの飛散がないよう点検を行い、必要に応じて対策工事を行っていく。
- ・ 引き続きフォローアップ調査を実施していく。また、今後新たに吹き付けアスベスト等が発見されれば速やかに対策工事を行っていく。

(問い合わせ先)

独立行政法人国立高等専門学校
機構本部事務局施設課

施設課長 松永 鶴博

電話 042-662-3147